

# 令和2年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要

日 時：令和2年6月20日（土）

午前9時00分～午後2時55分

場 所：市役所市民防災館4階 レストランPomme

出席者：審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、鴻野委員、齋藤（秀）委員、藤田委員、柴田委員、山形委員、種市委員、金ヶ崎委員、齋藤（紀）委員、成田委員、外崎委員、一條委員、川村委員（事業番号3まで）

市民協働課 高谷課長、竹内課長補佐、中村係長、田澤主査、小山主事、村上主事、菊地主事

## 1 公開プレゼンテーション・審査会 ＜プレゼンテーション・審査方法＞

・1事業ごとに公開プレゼンテーション・審査を実施。（審査は採点方式によって決定。）

ただし、申請金額が20万以下の事業については、公開プレゼンテーションによる事業説明を申請団体の任意とする。事業説明を希望しない場合は、市の担当者による事業説明を実施する。

・審査委員が申請団体に所属する場合は、プレゼンテーションから審査まですべて外れる。

（公開プレゼンテーション有）

1. プレゼンテーション …15分程度  
(7分以内で事業内容の説明。残り時間で質疑応答)
2. 審査 …20分程度  
(事業内容・金額について審議後、採点表に記入)
3. 採点結果発表 …採点表集計後、休憩ごとにまとめて発表

（公開プレゼンテーション無）

申請団体のプレゼンテーションによる事業説明を省略し、1事業につき15分程度とする。（7分以内で市担当者による事業説明。残り時間で質疑応答）

【審査項目】

審 査 項 目	
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる

【審査採点】

区 分	評 価
高く評価できる	10点
「高く評価できる」と「普通」の間の評価	8点
普通	6点
「普通」と「あまり評価できない」の間の評価	4点
あまり評価できない	2点
評価できない	0点

【決定方法】

採択…出席委員の合計の平均点が60点以上、かつ、各審査項目の平均点が3点以上

《審査内容》

事業番号	1
事業名	いろいろな鬼ごっこの集い／スポーツ鬼ごっこ交流大会 2020 冬の陣
団体名	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会

【質疑応答（抜粋）】

Q：審判の資格を持ち、恒久的に審判をやれる人は何人くらいいるのか。

A：今は20人くらいで、学生が資格を取った場合、卒業するといなくなることがあるの  
で、年々5人くらい講習会をやって補強している。

【主な意見】

- ・子どもたちが日常的に体を動かす機会に繋げていくことを考えながら、やっていただきたい。
- ・学校単位で広まっていくほうが趣旨に沿っているので、将来的には1%システムから移行させるような指導普及の仕方が望ましい。大学生に審判員を任せるよりも、学校の先生や団体構成員が取得するように案内をしながら、審判員をもっと増やすようにしていき、将来的に学校単位は、独自でやってもらうように、団体側が橋渡し役として、審判を育てるという目的を持っていければいいのではないかと思う。

【採択結果】

合計点 67.7 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.4
合計		67.7

事業番号	2
事業名	令和2年度 ひろレクデー 「災害に備える」
団体名	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：参加者から「こういうテーマでやってほしい」などの要望はあるか。

A：団体としては、認知症や災害など、その年に考えていかなければいけないような必要性があるものを取り入れて、ひろレクデーの内容にしている。今回は、災害について、過去に開催した天気の講習会の内容なども集約して、参加者に周知していきたいと思い、テーマにした。

#### 【主な意見】

- ・社会情勢に合わせてテーマを変えていると思うが、もう少し絞り込んだ内容でもよいと思う。
- ・他のイベントと一緒に、人が大勢集まる場所やタイミングで開催できれば、当初から来たいという方とたまたま来た方の参加が見込める可能性がある。
- ・他団体との「横のつながり」をもう少し考えてみると、やれることが広がっていくと思う。
- ・参加者からの声を受けた事業展開をすることが、社会教育活動をする団体の在り方だと思う。参加者のニーズを把握し、事業内容を練っていくことが大事だと思う。
- ・団体の強みを出しつつ、足りないところは他団体を連携していくと良いと思う。他団体のイベントにも足を運び、コミュニケーションを取りながら、関係作りをしていただきたい。

#### 【採択結果】

合計点 57.9 点 <60.0 点 ⇒不採択

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	5.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	5.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.2
合計		57.9

事業番号	10
事業名	市民と農業を楽しむ事業
団体名	希望農園

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：毎日少しずつ手をかけなくてはいけない作業もあると思うが、参加者は、いつ集まるかなど、具体的な活動方法を教えていただきたい。

A：隔週で日曜日は、全員での参加日に行っている。それぞれ都合はあると思うが、月2回の参加は呼びかけている。細かい作業については、団体のメンバーが集まり、週の中で1つずつ決めて活動していきたいと考えている。

Q：周知方法を詳しく教えていただきたい。

A：SNSで交流を深めている市内の障がい者施設のグループの中の何名かが参加している。また、いきなり募集ではなくて、官公庁や学校など、いろいろなところに少しずつポスターを貼ってもらい、活動を理解していただきたいと思っている。ポスター、チラシ、SNSで少しずつ呼びかけていき、賛同を得て、活動を大きな輪に広げていければいいと考えている。

#### 【主な意見】

- ・障がいを持ったかたが、畑を通じて楽しみの場や、いろんな参加できる場を作っていくのは凄く面白いと感じた。
- ・お金よりも、人の力が凄く多く掛からないとできない。みんなで助け合ってやっというとしてることが企画として凄くいい。仲間が増えていき、賛同してくれるかたがいっぱい出てくれば凄くいいと思う。
- ・市民と一緒に農業をしましようという取り組みは、凄く歓迎されると思うので応援したい。

#### 【採択結果】

合計点 72.1 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.1
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合計		72.1

事業番号	13
事業名	おしごと体験広場キッズハローワーク～ビジュアル版（仮）
団体名	おしごと体験広場 キッズハローワーク実行委員会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：冊子は1種類だけか。それとも幼稚園、小学校、中学校と分けるのか。

A：分けないで1種類で作る予定である。小学校3～4年生が読んで楽しいということ  
を基準にして、作成していこうと思っている。

Q：冊子は、何に一番重きを置いて作ろうと思ったのか。

A：冊子は、何回も繰り返し見ていくことができる。分量もあまり重くないほうがいい  
と思っている。その冊子を読むと、社会の中にいる自分という存在が、ひとつの宝  
物であるということが伝わるようなものにしたい。

Q：冊子を作って配布し、どのように展開していくのか思いを教えてください。

A：自分の中で、見たり考えたりできるということが、一番の冊子のメリット。冊子を  
どう活用していくかについては、様々な協力を得ることができれば、学校に配りに  
いって、時間をもらって話したい。来年以降は、この冊子とイベントを組み合わせ  
て、小規模なイベントとかでもやっていけるのではないかと考えている。配布する機会を与えて  
いただけたら、直接子どもたちに働きかけていきたいと考えている。

#### 【主な意見】

- ・思いは伝わってはきたが、中身をもう少し具体化したほうがいいと思う。
- ・自分の価値を小さい頃から軸として持っていることが、とても大事だと思った。企画は  
とても良いので応援したい。
- ・キッズハローワーク自体は、行って見て非常に面白かった。これが冊子版になったらど  
うなるのかを見てみたいと思う。

#### 【採択結果】

合計点 60.3 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 14 名で審査採点（大倉委員は審査から外れる）



審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	5.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	4.6
合計		60.3

事業番号	12
事業名	NO WORK NO LIFE (仮)
団体名	おしごと体験広場 キッズハローワーク実行委員会

### 【質疑応答 (抜粋)】

Q：子どもの相談などが入っているが、キッズハローワークの枠組みで職業体験や働くということではないないところが、ミスマッチなんじゃないかと思うが、あえて入れた理由や考えがあれば教えていただきたい。

A：あくまでもイベントを通して、言葉でいうとサードプレイス (第三の場所) を作りたい。親でもない、学校の先生でもない地域の大人と気軽に繋がれば、というのを作りたい。地域で子どもを育てていこうという機運の醸成にもなるし、子どもたちに楽しい場を提供するということが必要だと思っている。例えば、Web コンテンツとして繋がる場所を作ったり、子どもが読んで考えたりする時間になるような冊子を作ったり、子どもの居場所を作りたいと思っている。矛盾ということは考えていなくて、いろいろな入口を作り、いろいろなかたちのドアを作って入ってもらう。入ると1つの場所である、というようなことを考えている。

### 【主な意見】

- ・地域のかたがネット上に出て、Web の中と現実と繋がっていくっていうのが、楽しそうなコンテンツだと感じた。
- ・最低限弘前市の産業などについて触れるところがあつたほうがよいのではないだろうか。
- ・職業体験等ができるように、例えば YouTube で配信するのであれば、農業体験の様子をインスタにアップしてみるとか、子どもたちも職業体験をしながら、その Web をどんどん膨らませていくようなこともできるのではないだろうか。そこから県外の人が見て、逆にそれが弘前の魅力を発信する、世界に発信できるチャンスにもなっていくと思う。

### 【採択結果】

合計点 61.9 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択 (申請額どおり)

※審査委員 14 名で審査採点 (大倉委員は審査から外れる)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.6
合計		61.9

事業番号	8
事業名	りんご畑鉄道ラッピング列車運行作戦
団体名	ひろさき地域活動応援隊 FUYAKU

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：実際ラッピングはどれくらいもつのか。何か実績はないのか。

A：外側のラッピングに関しては、耐久性は問題ないと考えている。車内のりんごを模した立体装飾物は、どれくらい耐久するかは分かりかねる部分もある。ほかの実例も参考にしながら、長い期間運行できたらと考えている。

Q：沿線のいろんな取り組みと、一緒に動いていくといった発想はあるか。

A：ポスターで告知する際には、弘南鉄道の大鰐線で、りんご畑鉄道というものが走るという内容をメインに行う。ほかにも、鉄道まつりや中南県民局で様々な活動を行っているので、いろいろな情報を集めて載せたいと思っている。

Q：ラッピングのデザインに関しては、どのようなイメージを考えているのか。

A：外側に貼るステッカーのデザインは、りんごと決まっているので、デザインに専門的知識がない中でも、かなり質の高いものができると考えている。りんごのステッカーのデザインに関しては、団体のほうで相談して作りたい。

### 【主な意見】

- ・他にも弘南鉄道の活性化に関わる活動をしている市民団体があるので、関係を持ちながら、活動を広げていくことを意識して今年活動してみるといいと思う。
- ・団体で実際にデザインを決めるときに、いくつかデモを作ってみて、いろんな人に意見を聞いてほしい。自分たちの団体の中だけで決めるのではなくて、ある程度いくつかのパターンを作って、いろんな人の意見を聞いてみてから決めたほうが、後で後悔しなくていいと思う。
- ・弘南鉄道自体も市民と一緒に、この電車を守っていこうというような一歩が欲しいと思う。

### 【採択結果】

合計点 66.1 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.3
合計		66.1

事業番号	4
事業名	十面沢お山の会（お山参詣）
団体名	十面沢お山の会

【質疑応答（抜粋）】

Q：継続してやっていく中で、もう少し工夫したほうがいいところや課題があれば教えてください。

A：課題は参加者である。子どもたちは、活動を続けていくしかないのかなとは思っている。どうやって広げていくかというところで、小学校や地域に関心を持ってもらえるような事業を今後も続けていき、周知していきたいと思っている。

【主な意見】

- ・観光コンテンツとして、ひとつの観光用資源として作っていくことも、外部の人からお金を支援してもらおう手段になるのではないか。
- ・途絶えさせることなく、ぜひ続けて欲しいと思う。
- ・今後続けるうえでいろいろな関わり方、地元の人たちや市の補助金だけではなく、違うルートに関わりもそろそろ開拓していくことで、10年後も続けていけるのではないか。

【採択結果】

合計点 76.7 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合計		76.7

事業番号	5
事業名	弘前市民への防災力・減災力の向上推進隊 パートⅢ
団体名	弘前市防災マイスター連絡会

【質疑応答（抜粋）】

Q：自主防未結成町会に掲示するポスターの使い方についてお知らせいただきたい。

A：災害はこんなに恐ろしいものだというのを絵で示し、一目で見るかたちのポスターを作り、目で訴えるようにしたいと思っている。

【主な意見】

- ・防災マイスターの資格を持っている人は約280人。実際に町会あるいは防災組織で活躍している人は約60人しかいない。残りの約130人は、資格があっても何も活動していない。そこが課題だと思う。
- ・これからも応援していきたい。

【採択結果】

合計点 69.9 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.9
合計		69.9

事業番号	6
事業名	岩木山エコプロジェクト
団体名	岩木山観光協会

【質疑応答（抜粋）】

Q：どのような人が参加しているのか教えていただきたい。

A：よさこいを踊っている花嵐桜組。日赤岩木山パトロール隊、岩木山を考える会、岩木山エコプロジェクトの会員とその家族、友達等である。

【主な意見】

・一生懸命ボランティアで活動されていて頭が下がる。続けられるうちは何とか続けて欲しい。

【採択結果】

合計点 86.8 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.9
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.1
合計		86.8



事業番号	9
事業名	「harappa 映画館」
団体名	NPO 法人 harappa

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：いままでの座席数を教えていただきたい。

A：大体80席を準備しており、お客さんの入り具合で、あと10席足している。

Q：3本上映を2本にして、支援を維持する考えはないか。

A：いままで「harappa 映画館」ということで、テーマに沿ったカリキュラム内容で、どうしても3本見て欲しいという内容になっていた。今後、実際どのくらいの客席を設けることができるのか確認し、もう一度予算を組みなおして、1日の上映会を2本にするかなど、意見を参考に対策を練っていきたい。

### 【主な意見】

・今年10年目なので、10年間の総括みたいなのや自己評価などをしていただけたらと思う。

### 【採択結果】

合計点 67.2 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.0
合 計		67.2

事業番号	7
事業名	「第1回 ひろさき学生短歌大会」
団体名	弘前市歌人連盟

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：コロナの影響で、学校のカリキュラムを消化するのに学校現場は大変だと思う。学校側への配慮的な考えについて教えていただきたい。

A：授業の遅れを取り戻すのに、学校の先生方は忙しいと思う。歌人連盟の役員の中には、高校で短歌を教えている者もいるため、学校で教えている短歌の授業をメインとして、生徒を募りたいと思っている。

Q：東奥日報で「東奥少年少女文芸大会」を開催しており、短歌だけでなく、俳句、川柳、詩を全県的に募集して表彰し、新聞紙上で表彰作品を発表することをやっているが、そちらとの関係についての考えを教えていただきたい。

A：東奥日報の大会は、テーマが決められていないが、この事業は弘前に目を向けて欲しいという目的を持っている。

#### 【主な意見】

- ・もし新聞に載せたいのであれば、記者や文化担当のかたに記事にしていただけないでしょうかという、アプローチをしたほうがいい。
- ・短歌を広げたい、若い人に知ってもらいたいというのであれば、広告を出すことは凄く高いハードルになると思う。広告を見て参加する人は、短歌をやったことがある人、自信がある人、そういう人が賞状をもらってもあまり意味がない。
- ・新聞広告などを大々的にやるよりは、チラシぐらいから始めていただければと思う。

#### 【採択結果】

合計点 60.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（広告宣伝費は補助対象外）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	5.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	5.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.9
合計		60.0

事業番号	3
事業名	“わ”と“な”の生き生きサークル5
団体名	“わ”と“な”の生き生きサークル実行委員会

【質疑応答（抜粋）】

Q：三大地区が自立できたポイントがあれば教えていただきたい。

A：リーダーが熱心に体操を学んでくれ、援助がなくても体操を自主的に行うことができるようになったことが1つ。あとは参加者がほぼ町会の人だったので、会場の使用料が無料にできるということで自立につながった。

Q：コロナの終息を待っての計画だと思うが、終息しなければ別のやり方を考えているのか教えていただきたい。

A：自主トレメニューを作った。家でもできるように、DVDの貸し出しもする。

【主な意見】

- ・自分たちの役割が何なのかということを確認に出し、集まってきた人たちに主体性を持ってやってもらえるよう働きかけているのがすばらしい。
- ・リーダー養成とか、なかなか手の届きにくい、地域住民では手が出せないようなところを担ってもらえるところが、とても意義がある活動だと感じた。
- ・これからも引き続き頑張っていただきたいと思う。

【採択結果】

合計点 78.7 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 15 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.1
合計		78.7

事業番号	11
事業名	弘前市で最もエコな町会モデル事業
団体名	鼻和町会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：最終的な目的は、ごみを減らすことを目的にしているのか。環境に優しい暮らし方、生き方まで響かせたいのか、その思いをお伺いしたい。

A：活動の原点は、地球温暖化とボランティアだが、台風の時期や猛暑日になると温暖化だって騒ぐ。でも自分たちもそのことに手を貸してるのに、全然気がつかない。リサイクルと言っているが、結果としては地球が発端ということになる。

### 【主な意見】

- ・モニター30世帯、60世帯を集めるのは大変なことだと思うが、モニターから報告書を提出してもらい、いろいろな困った事が寄せられてきたものに対して、どのような解決方法があるのかをまとめていただけると、3年間やった事業がとても大きな意味をもって市民に還元されていくのではないのかと、期待している。
- ・再度資源に戻したときに、どうやって利活用したらいいのかというところが、恐らく難しい課題になると思う。うまい活動方法をぜひ、今回の活動で出していただければ、ほかの町会でもいい情報が提供されていくので、期待したいと思う。

### 【採択結果】

合計点 64.0 点  $\geq$  60.0 点  $\Rightarrow$  採択（申請額どおり）

※審査委員 14 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	5.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.0
合計		64.0

6月20日審査結果（13事業）

採択とする事業	12事業
不採択とする事業	1事業